

今年度の各WGの活動方針について

運用・証券・投資銀行業務WG

時期	開催イメージ
6月17日	第1回会WG (PRIと共催)
10月頃	第2回WG
11-12月頃	第3回WG
3月4日	総会:意見交換会

2019年度もESG投資分野をテーマの中心に据える方向だが、「ESG金融大国となるための取るべき戦略」を中心に据え、活動を進める方向

【活動方針】

- ESG投資に関連する署名機関の実力向上と実践に向け対応を進めるべく、大筋以下の流れで活動に取り組む方針。年度を通じたテーマは「ESG金融大国となるための取るべき戦略」のアクション。

<第1回WG>

- 金融リテラシーを中心とするシンポジウム。PRIと共催。

<第2回WG>

- 資金の受け手(企業・プロジェクト)の意図と資金の流し手の意図(アセットマネジャー)に分かれた意見交換(対話:エンゲージメント)を行う。ESG金融大国となるためのアクションリストの実現に向けた課題と解決策について意見交換の場を設ける。

<第3回WG>

- 資金の出し手(アセットオーナー、金融機関)の意図と資金の流し手(アセットマネジャー、仲介業者)に分かれて意見交換を行う。第1回WGを受け、資金の出し手側との直接意見を交わす意見交換の場を設ける。

<意見交換会>

- 第2回・第3回WGを踏まえ検討。
上記にリスクの担い手(保険)も加え、アクションリストをどう実現していくかについて、それぞれの時間軸に向けた取組方針を検討する。

保険業務WG

時期	開催イメージ
今後調整	第1回WG 気候変動と保険業界
今後調整	第2回WG 地域課題の解決を通じた 持続可能な社会の実現

【活動方針】

- ・費用面も考え、会場手配は保険業務WG所属金融機関で対応するよう心掛ける。
- ・WGは2回の実施を想定するが、他WGとの連携、合同開催等も検討。

<第1回WG>

- ・昨年度実施した勉強会(第1回WG)、日本の生命保険会社(2社)による石炭火力事業への投融資制限、気候変動枠組条約COP24で合意されたパリルールブックを受け、国内外の気候変動に対する保険業界の動向の共有、日本の保険業界の対応を引き続き議論。

<第2回WG>

- ・地域での「持続可能な社会の実現」、「SDGs達成」における地域課題の解決に繋げる保険業分野金融機関が取り組む活動をテーマとする(生命保険、損害保険共有できるテーマを想定)。

具体的なテーマは今後検討。

例：地域課題を「少子高齢化」に絞り、「自然災害対策(レジリエンス強化)」、「健康寿命の延伸、モビリティ、労働力」をテーマとする等。

預金・貸出・リース業務WG

時期	開催イメージ
6月18日 (東京開催)	地方開催WG (複数回)
3月4日	総会:意見交換会

【活動方針】

- ・ESG金融懇談会の提言を踏まえ、間接金融分野におけるESG要素への配慮を強化すべく地域金融機関との協働を進める。SDGs達成や地域循環共生圏づくりに向けた取組の促進に向け、優れた取組事例の共有・議論の機会となる「地方キャラバン(複数回)」を想定。

<地方開催WG(複数回)>

- ・2018年度「ESG地域金融の先行事例調査に関する検討会」の成果を踏まえ、環境省・金融庁のご協力の下、ESG金融実装に向けた「地方キャラバン」を複数回予定。これを今年度の地方開催WG活動と位置づける。

<意見交換会>

- ・地方開催WGを踏まえて検討。
- ・成果のとりまとめ、報告を兼ねて、地域金融機関の取組事例共有、過去の環境大臣賞受賞取組事例、グッドプラクティスの情報提供、他の地域金融機関への取組の広がり繋げる議論等。

環境不動産WG

時期	開催イメージ
9月頃	第1回WG (環境不動産WG所属機関等で今後の方向性を議論)
12～1月頃	第2回WG (不動産ESG投資)
2月以降	第3回WG (地域のまちづくり)

【活動方針】

- 環境性能等が不動産価値に反映される市場の形成を目指す。
- パリ協定やSDGsを踏まえた不動産ESG投資の現状と今後の方向性について、実際の取組からベンチマーク・評価や情報開示まで、国内外の動向(UNEP FIや国交省「ESG不動産投資のあり方検討会」等の議論)、手法・ツール、グッドプラクティスの共有と国内での展開促進。
- 環境共生と快適性・ウェルネスに配慮した持続可能なまちづくりについて地域金融機関にも参加いただき、産・官・金の連携を視野にシンポジウム等開催(SDGs目標11「持続可能な都市とコミュニティ」考慮)。
- さらには、活動対象をインフラにも拡大し、特に再エネへの投融資に関しては、グローバル・ローカル双方の観点から注力。

<第1回WG>(または第2回WG)

- WGに所属する、または今後所属したい署名金融機関を招き、今後の方向性を議論。特に金融機関を主対象とする活動、全てのステークホルダーを対象とする活動の整理等。

<第2回WG>(または第1回WG)

- UNEP FI、国交省検討会等の直近の話題を共有し今後の展開を議論。

<第3回WG>

- ESG課題解決やSDGs達成に向け取組むべき課題と方向性について、ステークホルダー(産・学・官・民・金)で共有。環境共生とウェルネスに配慮した持続可能な地域のまちづくりにおける、金融機関の役割について議論。

持続可能な地域支援WG

時期	開催イメージ
6月頃～複数回	地方開催WG テーマ:SDGs/ESG金融 (預貸リースWGと合同)
7月頃	第1回WG テーマ:地域循環共生圏① (環境省と共催)
10月頃	第2回WG テーマ:地域循環共生圏② (環境省と共催)
2月頃	第3回WG テーマ:高齢化社会におけるコミュニティビジネス

【活動方針】

- これまで開催してきた「高齢化社会(認知症への対応)」、「SDGs」等をテーマとしたWGの開催(「自然資本」、「ポジティブインパクト」等、他のテーマにおいても状況に応じて適時企画)。
- 「地域循環共生圏(第五次環境基本計画(2018/4閣議決定)にて提唱された考え方)」の各地域での創造に向けた取組・人材育成を展開する環境省と連携。地域循環共生圏をテーマにしたWGを開催(2回程度)。

<地域循環共生圏>

- 1回目は地域循環共生圏を知るための勉強会。2回目は、それを踏まえた実践に繋がるセミナー等を想定。

<高齢化社会(認知症等への対応)>

- 2018年度開催の地域での高齢者支援をテーマとしたセミナーに引き続き、高齢化社会におけるコミュニティビジネスをテーマとする(国際長寿センターと共催予定)。

<SDGs/ESG金融>

- SDGs勉強会の継続・展開。基礎(総論)(2017)、各論(2018)に対し、今年度は、「ESG金融」実装に向け「地方キャラバン」を予定する預貸リースWGとの合同開催を想定。

※回数は地方開催WGにあわせ調整